

# 韓国が生協 —ハンサリムとiCOOPを中心に—

12/12(水) 14:00~17:20

四ツ谷 プラザエフ 5階会議室

本企画は、2018年2月に刊行された「韓国の購買生協の歴史と実践」(『生協総研レポート』86)の4生協の論考のうち、韓国内でとりわけ有力と目されるハンサリムとiCOOPの2生協を取り上げます。現代の韓国での生協の展開は1980年代以降とその歴史は浅いものの、産地や食の安全、さらには進化する法制など、日本が学べることも多いはずです。

今回は気鋭の研究者で、かつ日本で博士号を授与され日本語にも通曉されている李香淑氏と鄭銀美氏という先の執筆者のお二人に、ご来日いただく研究会となります。韓国事情に詳しい丸山茂樹氏のコメント、参加される皆さまとの質疑の時間もごさいます。

貴重な機会となりますので、各位の一層のご参集をお待ち申し上げます。

## 報告①「ハンサリムの設立と変遷、現状と課題」

鄭銀美 (韓国農村経済研究院 主任研究員)

한살림

2002~2006年: 京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻、博士(農学)

主な研究: 「韓国生協における経済事業の成果と政策課題」(2011)、「女性農業者の経済社会的役割を向上させる提案」(2012~2013)、「2013 女性農業者の実態調査」(2014)、「地域経済活性化のためにローカルフードの推進戦略と政策課題」(2016) など

## 報告②「iCOOPの設立と変遷、現状と課題」

李香淑 (財団法人iCOOP協同組合研究所 研究員)

iCOOP

立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科博士後期課程修了、博士(社会デザイン学)

主な研究: 「生協の社会価値— iCOOP 生協を対象に」(2013, 2014)、「iCOOP 生産者会員の实態及び意識調査」(2015)、「ソウル市陽川区における社会的経済の人的資源調査」(2016)、「GMO のない飼料導入に関する一考察—生協の事例を中心に—」(2017) など

参加費 生協総研の会員(団体会員の役職員を含む): 無料  
一般(上記以外): 1000円

お問合せ 生協総合研究所(豊嶋里泉・中村範子)

TEL: 03-5216-6025 FAX: 03-5216-6030 E-mail: ccij@jccu.coop

CCIJ 公益財団法人生協総合研究所

〒102-0085 東京都千代田区六番町15 プラザエフ6F <http://www.ccij.jp/>

# 公益財団法人 生協総合研究所 豊嶋里泉・中村範子 行き

FAX : 03-5216-6030 E-mail : ccij@jccu.coop

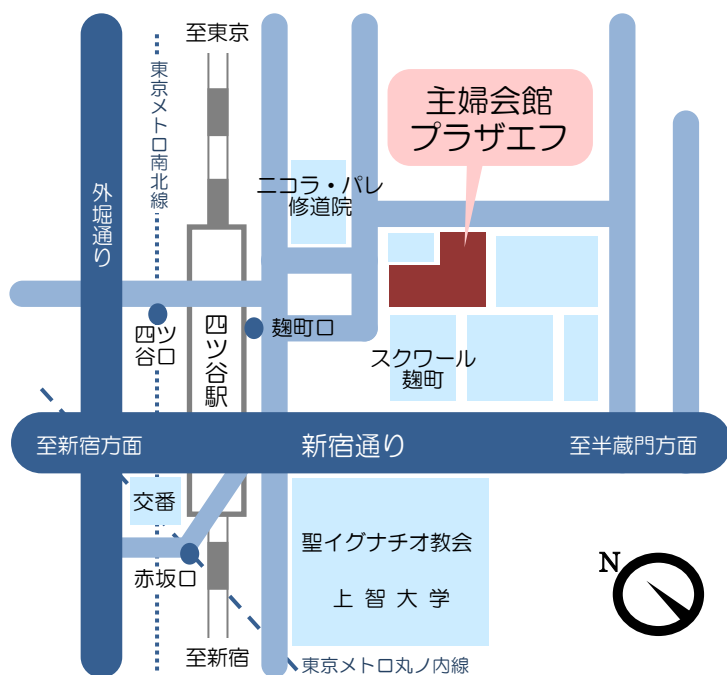
## ● 12月12日開催公開研究会参加申込書

団体名			
連絡先	担当者名	担当部署	
	TEL	FAX	E-mail
参加者 氏名	(所属・役職名)		
	(所属・役職名)		
	(所属・役職名)		

公益財団法人 生協総合研究所 担当：豊嶋里泉・中村範子

〒102-0085 東京都千代田区六番町15番地 プラザエフ6F

Tel : 03-5216-6025 Fax : 03-5216-6030



【JR 中央線・総武線】

四ッ谷駅（麹町口）より徒歩1分

【東京メトロ丸ノ内線】

四ッ谷駅（1番出口）より徒歩3分

【東京メトロ南北線】

四ッ谷駅（3番出口）より徒歩3分

詳しくはこちらをご覧ください。➡

